

わらび WARABI

市議会 だより

No. **222**
2023・6

編集

蕨市議会広報広聴委員会
TEL／048-433-7733
FAX／048-432-7991
Eメールアドレス
gikai@city.warabi.saitama.jp



わらびりんごの木



目次

令和5年3月定例会の概要	P 2
令和5年度の主な事業内容	P 3
代表質問	P 4
一般質問	P 6
3月定例会の賛否結果	P13
政務活動費の公開・編集後記	P14

市議会だよりは、表紙がカラーになりました。初めてのカラー表紙は、わらびりんごの写真です。わらびりんごの花や実の色彩があざやかで、とてもきれいですね。4月上旬に咲いた花に実がつき、6月下旬から収穫を迎え、サイダーやシャーベットに加工されて販売されます。ぜひ皆さんも味わってみてください。





3月定例会

令 和5年3月定例会は、2月17日から3月23日までの35日間の会期で開催し、初日には、1月7日にご逝去された故池上智康議員への黙とう・追悼の辞・哀悼決議を行ったほか、市長からの施政方針表明がなされました。

2月27、28日には、人事案1件を同意とし、会派等の代表者が市政について問う代表質問と議案に

対する質疑を実施しました。(4・5ページ参照)

3日間にわたり行われた一般質問では、13名の議員が市政の課題を問いました。(6～12ページ参照)

最終日には、陳情2件を不採択とし、市長提出議案34件を原案のとおり可決したほか、一般会計当初予算に対する附帯決議を含む議員提出議案2件を原案のとおり可決して閉会となりました。

議員提出議案第2号

「令和5年度蕨市一般会計予算に 対する附帯決議」を原案可決

今定例会では、「令和5年度蕨市一般会計予算に対する附帯決議」が議員提出議案として提案され、賛成多数で原案のとおり可決しました。

今回の附帯決議において争点となったのは、町会活動の再開に向けて、各町会に30万円の補助金を支給する「ポスト・コロナ町会活動再開支援事業補助金」と、各町会に2台のタブレット端末を貸与する「タブレット端末の貸与事業」の2つの事業です。本附帯決議の内容と反対討論の要旨は次のとおりです。

※附帯決議：法的拘束力はないものの、可決された案件に付ける意見や要望のこと。

賛成 令政クラブ・公明党・無所属 (小林前議員)

附帯決議の内容 「ポスト・コロナ町会活動再開支援事業補助金」は当初、例えば町会バス旅行等の開催経費の一部に充てることができるといような曖昧で誤解を招きかねないような使途基準の説明

があった。30万円の補助金を否定しているのではなく、広く効果が現れるよう明確な使途基準が必要であり、事業実施後には検証も行われるべきである。また、「タブレット端末の貸与事業」は、貸与後の活用計画が明確ではなく、さらに丁寧な対応が必要であり、保管方法や個人的な使用の可否など、使途管理基準が明確となっていない。よって、次の事項を履行するよう求めるものである。

1. 両事業については、町会との十分な協議を行うこと。
2. 使途基準を明確にすること。
3. 1・2の結果を議会に報告したうえで予算執行すること。

反対 日本共産党

本附帯決議で指摘している内容について、その多くは既に本会議や委員会での審議等で明確に答弁されている。また、経緯や制度趣旨、運用方針について、前提として示されている内容が執行部の答弁で示された内容と異なる部分も少なくない。その論証も不十分な

まま、予算執行を先送りすることも含めた対応を求める内容には到底賛成できないため、反対する。

反対 無所属 (榎本議員)

「バス旅行にも使える説明」という部分について疑義があり、賛成できないので反対する。

議員提出議案第3号
「带状疱疹ワクチンへの
助成並びに定期接種化
を求める意見書」

今定例会において、同意見書を全会一致で可決し、国や関係機関等に送付しました。

内容 带状疱疹は、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。発症予防にはワクチンが有効とされているが、費用が高額で接種を諦める高齢者も少なくない。そこで政府に対して、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や、予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

環境福祉経済分科会

- ◆**保育園の給食費無償化（4か月分） 1,828万円**
保育園に通う子どもの給食費について、4か月分の無償化などを実施します。
- ◆**地域活性化・消費者応援事業第4弾 6,951万円**
事業者支援や市民の暮らし応援、地域のキャッシュレス化推進を図るため、スマホ決済を活用したポイント還元キャンペーンを実施します。
- ◇**子育てファミリー応援給付金 300万円**
令和5年4月1日以降に生まれた新生児を対象に、1人当たり5,000円を給付します。
- ◇**第3次わらび健康アップ計画の策定 548万円**
健康づくりの取り組みを更に発展させて、スマートウェルネスシティを目指します。
- ◇**ふれあい収集の実施 70万円**
自らごみを出せない高齢者・障害者世帯を対象に、戸別のごみ収集を実施します。
- ◇**魅力ある店舗づくりの支援 330万円**
企業診断後に店舗改装等を実施した事業者に、事業費の3分の2を助成します。（上限30万円）

令和5年度の主な事業

市議会では、令和5年度予算の内容について、予算決算常任委員会の総務・環境福祉経済・教育まちづくりの3つの分科会において、詳細にわたり審査を行っています。

令和5年度の予算と主な新規・拡充事業について、審査を行った分科会ごとに紹介します。（◆印は、新型コロナ・物価高騰緊急対策第8弾の事業です。）

令和5年度一般・特別・企業会計予算

一般会計	280億4,757万7,000円
国民健康保険特別会計	70億1,800万円
錦町土地区画整理事業特別会計	14億5,800万円
介護保険特別会計	56億5,500万円
後期高齢者医療特別会計	10億5,700万円
公共用地先行取得事業特別会計	9,400万円
病院事業会計（収益的支出）	33億2,835万4,000円
水道事業会計（収益的支出）	13億9,877万5,000円
公共下水道事業会計（収益的支出）	16億 142万9,000円
合 計	496億5,813万5,000円

教育まちづくり分科会

- ◆**水道基本料金の無料化（4か月分） 1億4,910万円**
市内全ての家庭、事業所の水道基本料金を4か月分無料化します。
- ◆**幼稚園、小・中学校の給食費無償化（4か月分） 9,717万円**
幼稚園、小・中学校に通う子どもの給食費について、4か月分の無償化などを実施します。
- ◇**学校トイレの改修 5,962万円**
小・中学校の教育環境改善を目的に、今年度は西・塚越・中央小学校、第二中学校で実施します。
- ◇**デジタルドリルの導入 819万円**
デジタルドリルを整備し、基礎学力の向上や理解度に応じた学びの実現を図ります。
- ◇**蕨駅西口再開発事業の推進 3億2,800万円**
事業主体である再開発組合に対して支援を行いながら、令和8年度の竣工を目指します。
- ◇**道路老朽化対策の集中的実施 1億6,169万円**
老朽化した路線に対する集中的な措置として舗装等補修工事などの路線数を拡大して実施します。

総務分科会

- ◇**市役所新庁舎建設の推進 11億3,957万円**
今年秋の開庁に向けて、建設工事や備品整備、移転等に要する費用を計上しています。
- ◇**新庁舎におけるデジタル化の推進 1,914万円**
新庁舎開庁に合わせてICT技術を活用した次の事業等を実施し、市民の利便性向上を図ります。
 - ・証明書の自動交付機を設置
 - ・市民課待合スペース等に公衆無線LANを整備
 - ・書かずに申請を行える「スマート窓口」を導入
- ◇**災害救助用資機材搬送車等の整備 4,998万円**
指令車を災害救助用資機材搬送車に更新するほか、経年劣化した消防団第3分団の消防ポンプ自動車を更新します。
- ◇**地域防災計画の改定 1,026万円**
現行の地域防災計画について、法制度や上位計画との整合を図るとともに、近年の大規模災害の教訓や課題を踏まえて改定します。
- ◇**自転車用ヘルメット購入費補助金 100万円**
自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務となることから、着用促進のため、購入費の2分の1（上限2,000円）を補助します。

代表質問

代表質問とは――

一般会計当初予算案や市政全体にわたり、各会派の代表者1名と、2人以上の議員で構成する会派に所属していない議員がそれぞれの持ち時間で質問する制度です。



実効性を伴う将来

ビジョンを求める！

～令和5年度予算概要と
主な事業について～

令政クラブ 前川 やすえ



商店街への支援について

議員 中心市街地活性化プランは、サブリース事業などの積極的な空き店舗対策、回遊性を生み出す交流拠点の整備等を行うエリアリノベーション事業などを展開していくための1年目が過ぎようとしている。空き店舗が約60店舗ある状況は変わっていないこと

をどのように捉えているか。
市民生活部長 魅力ある店舗づくりに対する支援制度を創設するなど、営業を長く続けられるように支援したい。

議員 駅前再開発事業と同時に旧中山道までのにぎわい創出に関するプランを考えてい

かないと空白の区間ができる。人の動線や回遊性なども考えながら、明確なビジョンを持つて早急に取り組んでほしい。

未来を担う子どもたちのために

議員 本市が目指すICT教育とはどのようなものか。

教育長 子どもたち一人ひとりが主体的に学びに向かう姿勢を身につけ、また、その学びを自ら深めていくための効果的な手段として、ICT教育を推進し、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図るとともに、子どもたちの学習の基礎となる資質・能力の1つである情報活用能力の育成を図りたい。

市立病院の建て替えについて

議員 市立病院を計画的に建

物価高騰・新型コロナ
感染拡大の影響は深刻、
くらし・地域経済を守る
ため全力を

日本共産党 鈴木 智



議員 物価高騰や新型コロナが深刻。消費税減税など、国の抜本的対策はなく、最も身近な市政の役割は重要となっている。本市の対応はどうか。

市長 新型コロナウイルス対策は、初めての事態の中で文字通り全力。ポストコロナでは、市立病院を中心に発熱外来を含めて備え、検査キットを配布できる体制の構築など対応しつつ、日常生活への移行をしっかりとやっていきたい。物価高騰に対しては切れ目のない支援をしてきた。今後も水道基本料金4か月分無料化、給食費4か月無償化など緊急対策第8弾を提案。厳しい物価高騰から市民の生活を守り抜くため全力を挙げる。

議員 恒常的な給食の無償化や負担軽減の検討は。

教育部長 子育て支援に効果があり、全国的な広がりも認識しているが、財源確保など課題がある。

「未来に希望を」「選ばれるまち」について

議員 3大プロジェクトと重点事業において「未来に希望を」「選ばれるまち」を掲げたいはどのようなものか。

市長 コロナ禍、ロシアによるウクライナ侵略などの時代だからこそ、未来に希望が持てるのが非常に大事。具体的には、市立病院の建て替えとウェルネスシティの推進、藤沢西口の再開発、子育て、教育力、新庁舎の完成と防災都市づくり、環境。特に環境は非常に多くの皆さんが関心、危機感を持っているテーマであり、役割を發揮できる都市にしていける。それぞれ単なる理想ではなく、今までの成果の上に実現可能なものとして

提案した。また、「選ばれる」とは、住んでいる方々が藤のまちに愛着を感じる、子育てしやすいと感じることが原点。

市立病院の役割と建て替え

議員 役割の認識、建て替えの検討はどうか。

病院事務局長 公立病院として地域の中核病院の役割を果たしてきた。小児を含む2次救急など医療機能等の継続が重要で、超高齢化社会への対応も期待される。建て替えについては、市立病院施設整備検討委員会の報告書で現地建て替え2案と移転新築案を示した。検討を深め、今年度中に判断したい。

ジェンダー平等、多文化共生の推進を

議員 未来に向け、避けて通れない重要な課題がある。その中でジェンダー平等、多文化共生への対応も要望してきた。市長の見解はどのようなものか。

市長 共通して大事なものは、それぞれの多様な生き方を決める権利を社会が認め合い、支えあふ包摂性のある社会の推進。それが生きやすい社会につながる。そうした根底の中に前進させたい。

で替えることについての考えはどうか。

病院事務局長 現地での建て替え案2案と、別敷地への移転建て替え案の計3案の検討を進めている。引き続き今年度において、さらに検討を深め、建て替えについての最終的な考えを示したい。

町会活動の支援について

議員 各町会に30万円を支給

するポスト・コロナ町会活動再開支援事業補助金について、町会は本当にお金の支援を必要としているのか。活動再開へのアドバイスであったり、高齢化している町会に依存している市からの仕事の見直しであったり、ほかにいろいろなことがあるのではないかとと思う。本事業についての見解はどのようか。

で苦悩しているのかなどを聴取したり、個別に相談を受けることもあった。いよいよコロナ禍から通常の活動に移っていたに際し、どうしても一時的な経費がある程度金額ベースで必要になること、また、町会の大小にかかわらず一定の支出を伴うことなどを十分に考慮し、様々勘案する中で、市としては金額的な支援という結論に至ったところである。

新年度予算 市民に寄り添った施策の実施を

無所属 榎本 和孝

議員 新しい市役所では、すべての電話を録音するとのことだが、市民への周知は。

総務部長 録音告知メッセージを毎回流す予定としている。

議員 新庁舎で清掃・警備・設備管理を一元化して業者に委託することの目的と今働いている方の雇用の継続はどのようか。

総務部長 不具合等の早期発見による建物被害の拡大を未然に防止することにつながるかと考えている。雇用の継続に

市民からは道路についての要望が多い

議員 道路については、老朽化の著しい路線について、新年度の予算で集中的に措置を行うが、これに必要な箇所はすべて対応済みとなるのか。次年度も同様に行うべきだと思うがいかがか。

都市整備部長 これまでも路

面調査を行い、優先度をつけて実施してきた。一定の改善が見込まれるまで次年度以降も継続して行っていきたい。

議員 公園等の樹木の落ち葉対策として強剪定を行うが、ただでさえ緑の少ない本市において、そのデメリットの認識は。

都市整備部長 樹木はCO₂の吸収や地球温暖化、都市景観の向上に大きな影響がある。いたずらに切るのではなく、適切な状況としたい。

令和5年度の行政運営及び市長の施政方針について

公明党 大石 幸一



が始まって数年経過したが、児童・生徒の関心度や成果はどのようか。

おくやみ窓口の設置について

議員 自治体DXの推進の一環として、「おくやみ窓口」の設置について過去に質問をしたが、その後どのような検討がされているのか。

総務部長 「おくやみ窓口」の設置には、専門職員の確保や費用などの課題もあり、現在には必要な場合に関係部署の職員が市民課に出向くことで対応している。国が推進する死亡・相続ワンストップサービス

市職員数の適正化について

議員 市職員の年齢別構成の状況について、どのように分析して、採用計画を策定しているか。

総務部長 20歳代と50歳代以降の職員数が少なく、30歳代と40歳代の職員数が比較的多い。職員の年齢構成の隔たりを軽減し、必要な人員の確保ができるよう努めている。

自治体DXの推進について

議員 市役所新庁舎や公共施設等にWi-Fiを設置する計画はどうか。

総務部長 新庁舎1階の市民課待合スペースやカフェスペース等に、どなたでも利用可

教育環境の整備について

議員 GIGAスクール構想

が、その時々に応じてICT機器の多様なツールを適切に活用するなど、子どもたちの成長は明らかであり、ICT機器を活用した授業や学習について関心度が高いと考えている。また、成果としても、主体的対話的で深い学びにつながる授業が多く見られるようになってきている。

市立病院について

議員 市立病院を建て替えることに異論はないが、経営の健全化、企業体としての業績が大事である。令和4年度の外来・入院の動向はどうであったか。

病院事務局長 外来では、発熱外来の受診者数は増えたものの、一般の患者数は伸び悩んでいる。入院では、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れによって、一部病床を休床していることなどから、病床利用率は50%後半で推移している。回復傾向にはあるが、コロナ禍前の水準にはまだ戻っていない。